



揖斐川中だより

令和5年1月10日
揖斐川中学校
第11号

集大成の3学期 『伝統の3本柱』を磨き上げる「決意・躍進の1月」

令和5年がスタートしました。今年もコロナ禍の中での新年の幕開けとなりましたが、目先の変化に惑わされず、事の本質を見極めながら、新年の目標に向かって、ひたむきに努力することのできる一年にしていきたいものです。この一年が揖斐川中の生徒一人一人にとって、飛躍の年となることを心より願っております。

さて、いよいよ集大成の3学期が始まりました。3学期は一年間を締めくくる学期であると同時に、来年度に向けての土台づくりの学期です。3年生の授業日数は今日を含めて40日間、1・2年生は52日間と本当に少ない日数です。短い日数ですが、仲間とともに、この一年間積み上げてきたものを、自分事として見つめ直し、『ここまでできる自分（自分たち）になれた』と、自信をもって来年度に向かうことのできる3学期にしていきたいものです。

特に、3年生の皆さんにとっては、この3学期は一年間の締めくくりであると同時に、中学校生活3年間、そして義務教育9年間の締めくくる最後の学期となります。それぞれの進路に向けて、最後の頑張りのときでもあります。3年生が目指す『最高峰の幸せ』で満ち溢れた卒業式にしていくためにも、最後まで仲間と力を合わせ、互いの幸せを願って、ひたむきに努力を続ける「揖斐川中の顔」としての最高の姿を、3年生の皆さんに期待しています。

1・2年生の皆さんは、来年度を見据えて、この3学期を「令和5年度の0学期」として位置付け、2年生は全校のリーダーとなっていくことの自覚と決意、実行力を高めていけることを、また、1年生は新1年生の先輩として、来年度の3年生を支える中堅学年に向けての準備をしていく3学期にできることを期待しています。そのためにも、ここまで積み上げてきた『ひたむきな姿』、『思いやりの心』、『自治の精神』に、さらに磨きをかけ、自信をもって3年生から『伝統の3本柱』を引き継ぐことができるようにしてほしいと思います。

全校生徒一人一人の頑張りで、躍進の1月にできることを期待しています。

<保護者の皆様へ>

新たな年を迎え、子どもたちは2学期以上にやる気をもって3学期をスタートさせることができました。これもひとえに、各ご家庭における保護者の皆様方のご支援があつてのことと、心より感謝申し上げます。今年も、昨年までと同様に厚いご支援を賜りますよう、よろしく願いいたします。

